

あっぷる通信

特定非営利活動法人すてっぷ・あっぷる 地域子育て支援センターあっぷっぷ

TEL : 090-5764-4428 TEL/FAX : 0553-39-9382

「特別な配慮が必要な子育て家庭等への支援」スタート！



今年度より「特別な配慮を要する家庭」への相談体制の強化に取り組んでいます。子育てを取り巻く様々な状況の変化に伴い、発達障害、多胎児、ひとり親、育児と介護のダブルケアなど、親だけでは対処できない問題は増加しています。初めての育児で子どもとの関わり方がわからないまま、コロナ禍で孤立して悩んでいるママも増える中、家族の不安に寄り添っていきたいと願っています。

この半年間を振り返ると、発達の不安での相談が多かったです。あっぷっぷでは、妊娠さんの時から支援センターを利用し、産後すぐから様々な子育て講座に参加することで子どもの成長発達に不安が生じた時に安心して話せる関係を築くようにしてきました。ちょっとしたことでもママは心配になるもの。涙ながらに話される不安な気持ちを受けとめ、一緒に成長を継続的に見守っていく姿勢を大切にすると共に、必要に応じて専門機関に繋ぐ連携も行いました。今後もこの姿勢で取り組んでいきます。

本年度4組の双子育児中のママが来館して下さり、相談支援や双子サークルの紹介、一時預かりと連携し2人目以降半額などの経済負担の軽減をはかりました。多胎児家庭は外出のハードルが高くなりがちで「出たいけど出られない」との声に応えるために何ができるか、これからも一緒に考えていきたいと思います。

ダブルケア家庭への支援策も進行中。今後も市の母子担当等と連携して、一人も取りこぼさない支援をしていきたいと思っています。



相談担当：清水あい（社会福祉士、保育士）



TOPIC

特集①新事業紹介

学生インターンシップ受入れ&学生ボランティア
プレマタニティフィット

特集②上半期報告

小学生講座レポート
子育て支援センター&一時預かり 担当者インタビュー

新事業紹介

つながる・めぐる支援の輪…周産期から産後へと、そしてこれから親になる青年期へと、世代を超えてつながっていく「助け・助けられる」事業展開

学生インターンシップ受入れ & 学生ボランティア



今年度は甲府第一高校、山梨高校、甲斐清和高校から57名の、助産師、保育士、教員志望の学生が高校生が夏休みのインターンに参加。8月6日の蔓延防止措置の発令によりそれ以降の活動ができず、残念ながら申込みながら参加できなかった生徒もいました。

他にも初めて甲府第一高校美術部にポスター教室を依頼。勝沼会場、甲府の山梨県生涯学習推進センターとのコラボでU21企画を実施しました。高校生ボランティア受入れ先の減少で、特に推薦入試予定の3年生にとり貴重な機会が提供できました。

生徒さんからは「予想と違う新たな気づきが沢山あった」「コミュニケーションの大切さを学んだ」「主体的に動くことが大事だと思った」「子どもの笑顔に励まされた」「子どもにわかりやすく教える事や心を開いてもらう事の難しさを学んだ」「一人一人個性が違うことを理解できた」「妊娠出産の大変さ、女性の体の不思議さ、命の尊さ、赤ちゃんを生み育てるということについて深く考える機会となった」等の感想が寄せられ有意義な事業でした。（法人代表：塚田）

プレマタニティフィット



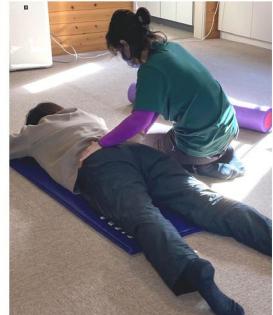
妊娠を望むすべての女性のためのからだづくり

コロナ禍になって、普段以上にストレスを感じる社会環境になっている今、女性の体にも日常的なストレスによる負担が大きくなっていると感じます。ここは繋がっているものですから、運動プログラムではママたちが気持ちの上で落ち込んでしまわない、ポジティブにいられるようにと心がけていました。

不妊治療は体にも心にも大きな負担を強いります。産前、産後間もない赤ちゃんとの生活も同じく「追い詰められた心境」になります。そんなとき、私は「自分をもっと大切に、自分に目を向けてあげて」と伝えたいです。例えば運動プログラムに参加することに「子どもを預けてまで…」と罪悪感を感じてほしくない。自分を大切にすることで、自然にお子さんも大切にする気持ちが育っていくと思います。

しばしば、不妊治療を止めたら思いもかけず授かった、というお話を耳にします。これも「追い詰められた心境」でここが辛くなってしまっていたものが、休むことで心の負担から解放されて体がととのう効果があったのかもしれないですね。

現代は女性の体の健康が、あまり意識されていないと感じることが少なくありません。健康ながらだづくりをすることは、そのまま、妊娠出産に関わる「備え」をしていくことにもつながっていくのではないでしょうか？
(インストラクター：山口)



上半期報告

特集②

8月～9月にかけて蔓延防止等重点措置の発令があり一部活動が制限されましたが、ママたちのメンタルヘルスの重要性を鑑みできる限りの対策の下、完全な閉館を避けました。



夏休み小学生講座レポート

夏休みの小学生の宿題の応援や誰もが楽しめる居場所作り、異年齢交流を目的とした活動です。今年はポスター教室を初めて甲府第一高校美術部に依頼しました。

勝沼では、ポスター、読書感想文講座、科学実験、英語、学習支援を。山梨県生涯学習推進センターでは、ポスター、感想文、実験、キッズボクシングの開催を企画しました。

コロナ感染拡大に伴い、8月9日以降3カ所で予定していた科学実験と、キッズボクシングが中止となったのは残念でした。その他の活動は安心・安全のうちに楽しく開催できて、多くの小学生と高校生インターで盛り上がりました。（法人代表：塚田）

一時預かり「あっぷるはうす」 (甲州市補助事業)



緊急対応のみ、人数制限つきの開館でした。最低限の預かりを確保していたことで、悩むママたちの預け先がない状況は回避できたと思います。反面、感染予防のため、スタッフへは換気や消毒の徹底、同居家族の健康管理、預かるお子さんの健康観察もよりシビアになりました。時には預れない場面も。

感染拡大が落ち着いた最近の利用者さんの中には、自粛されていた方多かったです。それでも前年の休館中と比べ、開館していたことで行き場のない状況を作らない意義はあったと思います。（責任者：丸田）

甲州市地域子育て支援センター あっぷっぷ(甲州市委託事業)



母子で孤立させない、行き場をなくさないために、完全予約制、3組までの制限しつつ開館していました。ママ同士で「久しぶりに会えて嬉しい」との声や、最初は緊張しつつ、年齢が違っても子ども同士がお互いに興味を持ちあって接する様子も見られ、コロナ禍で子ども同士が接する機会を少しでも確保できたことは良かったです。

コロナ禍になってから相談が非常に増えました。「小さなことだけど、どこにも聞けない状態」になりがちな状況でしたので、相談場所としてよく機能していたと思います。（センター長：相澤）

賛助会員募集

「すてっぷ・あっぷる」では、私たちのNPO法人活動にご賛同いただけの方からのご支援を募っています。一時的な寄付にとどまらず、私たちと一緒に子育てを支える側として社会参画しませんか?

賛助会員になってくださった方には、次のような会員特典が付与されます

- ▶最新のニュースレター(会報)のご送付
- ▶ご要望により会報へのご芳名掲載、会報PRコーナーへ貴事業所、店舗の広告掲載
- ▶イベントへのご招待、ご要望によりイベントブースへのご出店
- ▶プロジェクトへのご参画

賛助会員申し込み



賛助会員お申込方法

右記QRコードのページよりご確認、必要事項をご記入の上、ご郵送またはFAXにてお申し込みください。

申込書提出に併せて指定口座への賛助会費お振込みをもって、賛助会員手続き完了となります。

入金確認次第、折り返し最新の会報をご送付させていただきます。

LINE@で情報発信中！ \PCやスマホからラクラク予約！／

毎月のおたよりや、イベント情報などを配信。
毎月のレシピなどのコンテンツも充実しています！
10月からはオンライン予約も開始しました！
皆さんの登録をお待ちしています。



これまでの助成金活動

パルシステム山梨/山梨福祉財団/独立行政法人福祉医療機構(WAM)/公益財団法人キリン福祉財団/山梨県地域活性化協働事業費補助金/甲州市協働のまちづくり助成事業/(一社)山梨県労働者福祉協議会/ニッセイ財団



編集後記

長年の目標「年2回の発行」ついに達成！

コロナ禍で新たに学んだことを生かしつつ、現状やニーズに即した活動に努力したいです。様々な想いを実現するためにはマンパワーが必須。ここに色々な仲間が集まっている事が一番嬉しい。

編集委員会：塚田純子（編集長）／マークル裕子（インタビュー・編集）／三森望（デザイン）

カラー版もご覧ください！

すてっぷ・あっぷるのHPで
カラー版「あっぷる通信」を掲載中です。
右のQRコードを読み取り、是非ご覧ください。

<https://www.kosodate-oyasodachi-apple.org/>



ご意見お待ちしています

「あっぷる通信」のご意見・ご感想を
スタッフ一同お待ちしています。

右下のQRコードをスマホのカメラから読み取り、メールフォームでご連絡いただくか、下記の連絡先にご連絡ください。



会計のご案内

HPに収支決済報告がありますので、
ぜひご覧ください。



山梨県甲州市勝沼町勝沼756-1 甲州市役所勝沼支所2階
甲州市地域子育て支援施設内

地域子育て支援センターあっぷる

info@kosodate-oyasodachi-apple.org
TEL/FAX 090-5764-4428、0553-39-9382